

広報



笑顔が輝き 住み続けたいくなるまちへ

Mogami
もがみ



1

2024
No.874



《表紙の写真》1月12日、大堀小学校の一年生と二年生が新年の五穀豊穡を祈り、小正月の伝統的な文化「団子さし」を行ないました。

特集

P.4～7



道の駅

もがみ
mogami

オープンから2か月！魅力を徹底解説！

1月号の目次

新春のごあいさつ	P. 2 ～ 3
ウェルネスメッセージ	P. 10 ～ 11
まちトピ	P. 12 ～ 13
くらしの情報	P. 16 ～ 18
国民スポーツ大会関連	P. 19 ～ 20

令和6年 新春のごあいさつ

まちづくりの合言葉 「魅力をつなぐ 笑顔一杯あふれるまち」

新年あけましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、穏やかで希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より町政運営に對しまして、深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

今年は元日早々、能登半島地震が発生し、その翌日には羽田空港において航空機事故が発生するなど大変心が痛む思いであります。

あらためて災害は時と場所を選ばず突然襲ってくるものであり、危機管理の重要性を再認識したところでもあります。

この度の地震と事故により、お亡くなりになられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。被災地の安全と一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

さて、昨年11月26日に、念願でありました道の駅「もがみ」がオープンしました。山形県

の東の玄関口として、道路利用者へ安全・安心を提供するとともに、人の流れを町内外につなぐ道の駅としての役割を果たす拠点施設として期待するところであります。『最上（さいじょう）の「ある」を最大限に活かし、地域へつなぐ道の駅』というコンセプトのもと、「たのしいをつなぐ」道の駅、「やさしいをつなぐ」道の駅、「おいしいをつなぐ」道の駅としての魅力発信や交流人口の拡大、賑わいの創出に取り組んでまいります。

私は町長就任以来、首尾一貫して『自治協働のまちづくり』を政治理念に据えて、町政運営に臨んでまいりました。おかげさまで、町民の皆さまが様々な機会、場面におきまして、自治と協働の理念のもと主体的に取り組まれており、誠に力強く感じております。

これまで経験したことのない人口減少による縮小社会が進む中、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることは誰しもが願うこ

とであり、そのためにも町民の皆さまと行政の参画による『自治協働のまちづくり』の重要性は、今後ますます増してくるものと思われま

急速に進む人口減少やコロナ禍がもたらした社会の変化など、こうした厳しい時代であるからこそ、人と人が支え合い、つながりを大切にし、町民の一人ひとりが自分の役割を実感しながら、自信と誇りを持って活躍できるまちづくりに向けて、大いなる決意をもって臨んでまい

また、『第5次最上町総合計画』における理想とする将来像「明日今日よりもっと好きになれる最上町」笑顔が輝き住み続けたいくなるまちへの実現に向け、「楽しいね」「幸せだね」「安心だね」「豊かだね」「美しいね」「住みやすいね」の6つの基本目標を柱に、持続可能なまちづくりのための施策を展開してまいります。

更には、第2期地方創生戦略ビジョンでもあります「都市と地方の共生社会」が叫ばれる中、地方の果たす役割がますます大きくなってきております。これをチャンスと捉え、都会にない地方の魅力を発信し、つないでいくことで持続可能なまちづくりが図られるものと考えているところであります。

今年2月22日から24日まで、赤倉温泉スキー場を会場に「第78回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会アルペン競技」が開催されます。当町における最大の強みは何と言っ

ても競技役員、スタッフが充実していることであり、全国的にも高い評価を得ております。現在、大会成功に向けて一丸となつて着々と準備を進めているところでありますが、全国から来町される方々をおもてなしの心でお迎えし、選手をはじめ関係者の皆さまの思い出に残る、そして、多くの方々に夢と感動を与えられる大会となるよう万全を期してまいります。

また、今年9月1日に町制施行70周年を迎えます。この記念すべき節目を契機に、これまで当町が歩んできた歴史を振り返り、先人たちの英知とたゆみない努力によって今日の最上町があるというその重みを実感しながら、輝かしい未来へ踏み出す新たなスタートとしたいと考えております。

令和6年は辰年です。厳しさが続く社会情勢、経済情勢の中にあっても、昇り竜のように最上町も未来に向かってさらなる力強く飛躍できるよう、そして、私が掲げるまちづくりの合言葉であります「魅力をつなぐ 笑顔一杯あふれるまち」を次代につなげていくためにも、行政ニーズを的確に捉え、柔軟かつ適切に対応しながら、日々邁進してまいりますので、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新年が町民の皆さまにとって、幸多い年となりますよう心からご祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。

最上町長
高橋 重美



明日今日よりもっと好きになれる最上町
笑顔が輝き住み続けたいくなるまちへ

2 道の駅もがみの魅力紹介



1 道の駅には3つの機能があります

昨年の11月26日にオープンした「道の駅もがみ」。
山形県の東の玄関口として、国道47号の利用者の利便性を確保するとともに、
新たな観光交流・情報発信の拠点として、連日たくさんの人々にぎわっています。
先月号ではオープン式典の様子をご紹介しましたので、今回は「道の駅もがみ」の魅力
をたっぷりとお伝えします。

道の駅もがみ

▼落ち着いた雰囲気的交流スペース



軽食・喫茶コーナー



道路情報コーナー



観光情報コーナー



道の駅は、平成5年に創設された国の制度で、これまで国土交通省に認定された駅の数是全国で1207。このうち県内には23の道の駅が設置されており「道の駅もがみ」は22番目となります。

道の駅は、道路利用者の休憩施設であるとともに、利用者と地域のふれあいの場『地域の顔』となることを設置目的としています。主な機能は次の3点です。

【休憩機能】
24時間利用可能な電話や清潔

なトイレ、駐車場を備えており、快適にくつろいでいただけるような休憩機能があります。

【情報発信機能】
地域の情報ステーションとして、道路情報や歴史・文化、名産品や観光地などを紹介する案内機能や物産販売コーナーなどがあります。

【地域の連携機能】
各地域の道の駅がそれぞれに連絡を強化することにより、経営内容の改善やサービスの向上を図ることで、利用者に安心と魅力を与えます。

①道路情報コーナー

道の駅もがみでは、ドライブに欠かせない交通情報や気象情報、災害情報の提供を24時間体制で行っています。

交通情報は、道路管理者や警察からリアルタイムで配信されるため、最新の情報を得ることができます。

②休憩スペース

ドライブの途中でちょっと休憩したいときは、24時間利用できる休憩スペースをいつでも利用することが出来ます。眼下に広がる最上小国川の清流を楽しむことができます。

③観光情報コーナー



町観光協会の職員が常駐し、対面形式による観光案内所を開設しています。またデジタルサイネージ（注1）活用した情報揭示や情報検索サービス、町民がオススメするスポットをまとめた観光カードをお渡ししています。

このほか、町内の観光情報をもとより、最上地域の8市町村や尾花沢市、宮城県大崎市、秋田県湯沢市など、近隣市町村の観光パンフレットも豊富に取りそろえています。

▼記念スタンプコーナー



愛称「あつつえ」のシンボルマークをデザインしたオリジナルスタンプと台紙があります。

注1 デジタルサイネージ

ディスプレイやプロジェクター、スピーカーを通じて、画像・動画・音声による「動きのある」情報発信ができるメディアを総称する言葉。「電子黒板」とも言う。



④ 交流スペース

交流スペースでは、テーブルとイスを利用してゆったりと休憩いただけます。

また、町内の観光名所やイベント等を常時、動画で紹介しています。2階にも交流スペースがあり、さまざまなイベントや地域活動での利用が可能です。たくさんの方が行き交う道の駅を、新たな交流の場としてご活用ください。

⑤ 喫茶・軽食コーナー

最上牛とアスパラガスをふんだんに使った「アスパラコロツケ」と、山形名物の芋煮の味わいを楽しめる「芋煮コロツケ」。どちらもちよっとお腹が空いたときにぴったりです。

また手作りの野菜パンや焼き菓子、ジャムのほか、コーヒー等のドリンクも販売しています。

⑥ 公衆トイレ ベビーコーナー

公衆トイレは、男女用トイレと多目的トイレの22器を設置しており、いずれも24時間利用が可能です。

道の駅もがみの コンセプトは

あつつえ

大動脈である国道47号から「人を呼び込む」ために、町内に点在する豊富な魅力的資源（あるもの）を、最上町独自の情報として発信していきます。

また「最上級のおもてなし」により、町内の各施設や近隣地域に人々を送り出す機能も兼ね備えます。

人を呼び込み、最上級にもてなす仕組みを構築することで、人の流れを町内外へと「つなぎ」ます。

これらをイメージして基本コンセプトを「つなぐ」とし、町内の豊富な魅力的資源（あるもの）を「つなぐ」道の駅を目指します。

基本方針①
たのしい
をつなぐ

基本方針②
やさしい
をつなぐ

基本方針③
おいしい
をつなぐ



▲令和5年11月26日に行なわれた道の駅もがみオープン式典の様子



駅長さんにインタビュー

道の駅駅長
菅 安夫さん



当施設は他所と比べてちょっと“小ぶり”ですが、施設のすぐ側を流れる最上小国川の清流と美しい広葉樹林が広がる山々に囲まれており、非常に恵まれた景観にあるのが自慢です。

また「ヤナ茶屋もがみ」やコンビニと隣接しており、民間の商業施設と連携が図れることも特徴です。

オープンして間もないですが、町民の皆様のご指導をいただきながら、スタッフと関係者が一丸となって、親しみやすく魅力ある運営に努めています。

道の駅もがみ 整備事業の概要

- 事業着手 令和4年
- 路線名 一般国道47号
- 所在地 最上町大字志茂 柳ノ原1469-50
- 面積 3,139㎡
- 施設内容
 - ・駐車場54台
 - ・トイレ22器
 - ・情報提供・休憩施設
 - ・観光案内所
 - ・ベビーコーナー
 - ・非常用電源
 - ・公衆無線LAN
 - ・EV充電施設
 - ・交流スペース
 - ・会議室
- 整備手法 国と町との一体型による整備
- 総事業費 3億9,400万円
- 指定管理事業者 株式会社大場組



⑦ その他の設備

- 【駐車場】54台収容
- 【EV充電施設】電気自動車（EV）の充電用スタンド1基
- 【非常用電源】非常時に、消防用設備などが正常に作動するための電源装置。
- 【公衆電話】1台

関連施設・親水空間

「道の駅もがみ」の完成に併せて、最上小国川の川面へと通じるスロープが、県の『河川整備事業』によって整備されました。これにより、安全な親水体験や車椅子での釣りも楽しめるようになりました。

人気商品 アスパラコロツケ 誕生の舞台裏



令和4年、県立農林大学校農産加工経営学科の1年生が、町内産の規格外アスパラガスの活用を研究課題に取り上げ、コロツケやつくね、ポタージュ等の4品目を開発し、町に提案していただきました。

この提案を受け、町では道の駅オープンに合わせた商品化開発に着手。町内の食品加工会社やアスパラガス生産団体、JA、物産協会、商工会等の関係者からなる「産業部会」で、試作品の製造や試食会、生産・販売体制確立にむけた検討を重ねて商品化にこぎつけました。

町では、今後も同校との連携による商品開発を行なっていくこととしております。

地域おこし協力隊通信

11月16日に、大堀小学校と台湾宜蘭県の光復小学校の児童によるオンライン交流が行なわれました。この交流は、令和元年に光復小学校の教員と児童が来町し交流したことから始まりました。近年は新型コロナウイルス感染症の影響により往来が難しくなったことを契機に、令和3年よりオンライン交流に切り替えて交流事業を展開し、今回で3度目の開催です。開催当日まで、両校の先生とオンラインにて当日の流れやコンテンツの確認などの準備を行ない、児童の皆さんも英語で自己紹介の動画を作成し、お互いに送りあってもらい準備をできました。当日は大堀小学校の児童が最上町の紹介を行ない、その後、光復小学校の児童が学校での一日のスケジュールを紹介し、最後はお互いに質疑応答を行ない交流は終了しました。児



こんにちは！
今月号は張がお伝えします！

童は、モニターの画面を真剣に見て、友達と台湾の小学校の環境や服装などを語り合うなどして興味を示している様子でした。日本と台湾の子どもたちが触れ合うという貴重な機会を作る支援ができ、とても実りのある活動になったと感じます。両校の担任の先生方、ご協力をいただきました。今回のオンライン交流も楽しみにしています。

下記QRコードでSNSをご覧ください！



▲大堀小の児童と、モニターに映る台湾の児童

集 落 支 援 員 だ よ り

12月2日(土)、中央公民館の「みどりホール」で、三地区(富沢・向町・大堀地区)のコミュニティ推進会議(富沢は地域間連携推進協議会)の合同研修会を開催しました。始めに、「縮小社会における地域コミュニティのあり方を考える」と題して、伊藤勝副町長より講話を頂きました。講話では、「縮小社会とは端的に言えば人口減少社会である」と前置きした上で、国や最上町の縮小化の現状や厳しい財政状況について、様々な資料に基づき説明がありました。こうした厳しい状況を参加者が認識し、情報を共有できたことは大変有意義であったと思います。その後、「生活支援の活動について」パネルディスカッションを行いました。パネラーは、富沢地区集落支援員の遊佐忠孝さん、大堀地区のゆりの会「ねこの手ボランティア」の二戸正子会長、そし



「自律」「共感」「創造」 の最上中学校



1年 最上探索

11月9日、「最上町の魅力を再発見！」をスローガンに、

最上町の豊かな 魅力、再発見 【1学年】

最上中学校は、昭和61年度に町内4中学校(富沢・東・西・瀬見中学校)が統合して開校し、今年度、創立38年目を迎えました。現在、171名の生徒が在籍しており、地域と協働した様々な活動を行っています。特に、今年度に入ってから、コロナ禍が落ち着いたことから、以前までのような活発な活動に戻りつつあります。中でも、総合的な学習の時間における「ふるさと探究学習」は、郷土愛の醸成をねらいの一つとして、体験的・探究的な学びを展開しています。今回は、各学年の主な取組みについて紹介します。

町内見学を実施。これまで、最上町に関する様々な調査活動をしてきましたが、実際に見て、触れて、感じることをねらいとしました。まず、旧富沢小学校の「アートギャラリー最上展秋」を訪問し、「あまかけるProject」の皆さんから、ガイドをしていただきました。生徒たちからは、普段はなかなか見ることのできない大きな絵画を見て「〇〇に見える」「ええっ！△△に見えるよ！」などの感想が聞かれました。その後は、富山馬頭観音、赤倉温泉、封人の家をめぐりました。最上町に住んでいながら、実際に訪れたことのない生徒もたくさんいました。インターネットや広報紙などで目にするものとは違い、実物を目の当たりにして、新鮮な感動を得ていたようです。

3年ぶり完全実施 の修学旅行 【2学年】

11月7日～9日の日程で修学旅行に行きました。1日目は巣鴨商店街での町のPR活動です。この日の東京は最高気温が20度近く。生徒は、用意した手作りPRチラシを歩いている人に受け取ってもらおうと声を張り上



2年 修学旅行

げました。アスパイ君とパラミちゃんの着ぐるみを着た生徒は、汗だくになりながら写真撮影に応じました。2日目と3日目は自分たちで考えたコースでの研修です。電車の乗り方や約束した方との対面での会話など、これまで経験したことのない時間の連続でした。

デイズニールランドや劇団四季の観劇など、東京ならではの時間もたくさんありましたが、グループ研修を通して、時間を意識し、仲間と協力して行動することの大切さを学んだ3日間となりました。

将来の町づくり リーダーに向けて 【3学年】

3学年から、最上町ゆめ議会と総合的な学習の時間の発表



3年 最上ゆめ議会

会について紹介します。7月12日、最上町ゆめ議会が開催されました。町議会の議場で、町長や各課長、町議会議員の皆さんが集まり、町政に関する生徒たちの質問に議会本番と同じ雰囲気の中で答弁してくれました。生徒たちはこれまで調べたことを基に、自分たちなりのオリジナルのアイデアも提起しました。11月15日、中学3年間の総合学習の成果について発表しました。テーマごとに分かれた17グループがプレゼンを行ない、最上町への具体的な提言を行いました。当日は本校1、2年生の他、向町小や大堀小の児童の皆さん、町関係者など多くの方々にもご参観いただき、プレゼンに関する感想や質問も多くあり、大変充実した発表会になりました。

令和5年度三地区合同研修会を開催 ～町内の生活支援の活動状況について～



向町地区
今井 正明 支援員

12月2日(土)、中央公民館の「みどりホール」で、三地区(富沢・向町・大堀地区)のコミュニティ推進会議(富沢は地域間連携推進協議会)の合同研修会を開催しました。

て「アルカディアもがみ」の金田綾子理事長、同じく佐藤恵事務局長です。コーディネーターで町社会福祉協議会事務局次長の阿部竜也氏が進行を行ない、各パネラーの皆様から活動状況報告があり、引き続き質疑応答や意見交換が行なわれました。参加者からは、生活支援の活動に対しての行政の財政的な支援を要望する意見や、行政だけに頼らない民間企業の支援の活用など様々な意見が出されるなど、活発な意見交換の場となりました。

今回の研修会については、参加者の多くの皆さんから大変有意義だったとご感想を頂きました。今後も生活支援等についての研修会を継続していきたいと考えております。

・糖尿病予備軍やメタボリックシンドロームに早めに気づき、食事の見直しと運動を取り入れることで糖尿病の発症を防ぐことができます。また、早めに血糖コントロールをすることで合併症を防ぐことが可能です。



写真右：山形営業所長 世古 和広 氏

企業版ふるさと納税、感謝状を贈呈

東亜道路工業株式会社東北支社様から企業版ふるさと納税制度を活用したご寄附をいただいたことに対して、感謝の意を表するため、１２月２０日に感謝状の贈呈を行ないました。この度の寄附は、当町の地方創生事業に大切に活用させていただきます。誠にありがとうございました。

※「企業版ふるさと納税」とは、本社が町外にある企業より、寄付を通じて最上町を応援していただける制度です。

大場組様より寄付金をいただきました

１２月２２日、株式会社大場組様（大場宏利代表取締役）より町の教育育英資金にと２００万円が寄付されました。大場組様からのご寄付は平成１７（２００５）年から１９年連続となり、積み立てている「大場育英基金」の総額は合わせて３８００万円になります。この基金は青少年の修学貸付資金として活用されており、令和４年度までの貸付人数は延べ３０名、貸付金額は３６６０万円となっています。大場社長は「これからも寄付を続けたい」と話し、高橋町長は「若者の未来に役立てたい」と感謝の言葉を述べました。本当にありがとうございました。



写真右：株式会社大場組 代表取締役 大場 宏利 氏



やまがた暮らしプチ体験を実施しました

県の「やまがた暮らしプチ体験事業」第３弾として、１２月末から年末年始の期間、赤倉温泉・わらべ唄の宿湯の原（代表取締役 柴田真利）の下で新潟在住の方１名が町に１週間滞在し、宿泊補助業務をしながら移住体験を行ないました。この事業は“Timee トラベル”を活用したもので、今回が今年度最終回を予定しております。

参加者からは「山形は“のどか”という印象を受けた。ノスタルジックな雰囲気癒されながら仕事を行なうことができた。次は是非プライベートでも足を運びたい」という声を頂きました。この企画に興味のある事業所がありましたら、まちづくり推進室までお問い合わせください。

窓リフォームで“今だけ”もらえる

過去最大級

補助金は先着順です。いますぐ！お問い合わせください！

調うリフォーム・専門店 ウェルハシモト

〒999-6101 山形県最上郡最上町向町 279-13

2024年版

冬は窓からの隙間風が寒くて仕方ない

電気代が高くなる一方で今冬の暮らしが不安

誰にリフォームを依頼したらいいかわからない

1戸あたり上限金額

補助金額最大200万円

0120-38-4610

受付 8:00～18:00 / 定休日：日曜日

調うリフォーム・専門店

ウェルハシモト

〒999-6101 山形県最上郡最上町向町 279-13

受付 8:00～18:00 / 定休日：日曜日

令和6年度 種じゃがいもご予約受付中

甘くてホクホク キタアカリ M・L

根強い人気 ダンシャク Lのみ

煮崩れしにくい メーカー M・L

丸くて甘い NEW とうや Mのみ

丸徳ふるせ 住まいる館マルトク

3月上旬お渡し予定

3kg 各種 ¥1,580 税込

5kg 各種 ¥2,250 税込

10kg 各種 ¥4,268 税込

TEL：43-3028

ワイルドエドベンチャースクール



「第６回ワイルドエドベンチャースクール」が、１１月１８日に前森の大場満郎冒険学校、向町周辺を会場に開催されました。今回のテーマは野菜販売体験で、午前中に前森の畑で野菜収穫を行ないました。あいにくの天気でカッパを着ながらの収穫でしたが、参加した子どもたちは、雨にも負けず元気に楽しそうに大根と里芋の収穫を行いました。午後からの販売体験では、最初は緊張していた様子でしたが、徐々に慣れて終盤には自分から声をかけて町民と会話をしながら販売体験をしました。お金を稼ぐ大変さが今回の活動を通して学んでもらえたと思います。

瀬川宗太さんが人権作文コンテスト入賞！

第４２回全国中学生人権作文コンテスト山形県大会で、最上中１年生瀬川宗太さん（東法田）の作品が最優秀賞（山形県人権擁護委員連合会長賞）に選ばれ、１２月２日に表彰式・作文朗読が行われました。瀬川さんは、「障がいを持って生まれたことで、日常的に周りの人や環境に敏感になります。この作文を書いて自分のことを見つめ直し、誰もが大切にされる世の中であってほしいとより強く思うようになりました。そのためにも、それぞれの個性を認め合い、もっとお互いを理解することが大切だと思います。」と話してくれました。



瀬見東町マーガレット会が国土交通省より表彰

１２月７日、「瀬見東町マーガレット会」がボランティア活動を評価され、国土交通省東北運輸局長表彰を受賞しました。

瀬見地区では婦人会が解散して以降、地域交流などの減少を危惧し、東町（瀬見温泉駅周辺の地区）では「マーガレット会」として存続。発足後約２０年、駅の清掃、国道沿いの花壇整備等のボランティア活動を行なってきました。過去にはＪＲ東日本から３回の感謝状が贈られた経歴もあります。今回の表彰は、鉄道の日記念イベントの一環として、国土交通省東北運輸局が、鉄道・索道の安全・発展に多大な功績をあげた鉄道をめぐる一般協力者を表彰するものとして、同団体が受賞することとなりました。

受賞された団体の皆様、今後も瀬見地区の美化整備に、より一層取り組まれますよう、ご期待申し上げます。

今年度も多くの方が参加 「生きがい大学」 閉講式で輪投げ大会も

１２月１１日に富沢地区公民館「ひまわり大楽」、１２月１４日には向町地区公民館「いきいき大学」の閉講式が行われ、今年度の活動報告が各々なされました。

昨年度はコロナにより事業中止もありましたが、今年度は全講座が実施され、参加者からは充実した活動だったと振り返りがありました。最後は輪投げ大会で盛り上がり締めくくられました。本事業はどなたでも参加大歓迎ですので、来年度も町民の皆様より広くご参加いただければ幸いです。



国民年金保険料の前納割引について

国民年金保険料をまとめて前払い（前納）されると、保険料が割引になります。
口座振替を利用することで、お得に納付できます。

※口座振替の前納をご希望の際は、下記の申込期限までに最寄りの年金事務所までご相談ください。

申込期限 2月29日（木） 連絡先：新庄年金事務所 0233-22-2050

下記の表は令和5年度の保険料額になります。金額は年度単位で変更があります。

納付書で通常にお支払いした場合

1ヶ月分	半年分	1年分	2年分
16,520円	99,120円	198,240円	402,000円

前納の場合

納付方法	1ヶ月分	半年分	1年分	2年分
納付書での前納 【割引額】		98,310円 【810円】	194,720円 【3,520円】	387,170円 【14,830円】
口座振替での前納 【割引額】	16,470円 【50円】	97,990円 【1,130円】	194,090円 【4,150円】	385,900円 【16,100円】

宝くじの助成金で除雪機と倉庫を整備 （立小路自治会）



立小路自治会では、宝くじの社会貢献広報事業として一般財団法人自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業により、除雪機と保管する倉庫の整備を行ないました。

同自治会では、冬季間ボランティアの除雪隊により集落内で助け合いながら除雪困難家庭や空き家の除雪を行なっていましたが、集落の人口減少と高齢化に伴い人手不足となり除雪作業が大変負担となっていました。今回の整備により作業負担は大幅に軽減され、降雪時においても安心して生活を送ることができ、地域間の連帯意識の高揚が期待されます。



- ◇事業主体 立小路自治会
- ◇助成額 250万円
- ◇事業期間 令和5年4月1日～令和5年12月2日
- ◇事業内容 立小路集落内で使用する除雪機と倉庫の整備

○お問い合わせ
総務企画課 まちづくり推進室 ☎43-2261

住民税（町・県民税）の申告と所得税の確定申告のお知らせ

住民税の申告と所得税確定申告の相談を集落ごとに行ないます。所得控除や住宅ローン控除を受けようとする方は、申告することにより源泉徴収された所得税から、還付を受けられる場合があります。

◇相談期間 **2月9日（金）～3月14日（木）**

◇受付時間 【午前の部】8時30分～11時
【午後の部】1時～3時

◇相談会場 役場3階 大会議室

◇お問い合わせ 町民税務課 ☎43-2014（直通）

申告に必要な書類

①共通書類

- 申告する方の令和5年中の収入がわかる書類（源泉徴収票の原本や賃金支払明細書等）
- 社会保険料の支払領収書
- 生保・地震保険、旧長期損保等の令和5年中の支払い証明書（生命保険等の控除をする方）
- 医療費明細書または領収書を医療機関ごとに整理し、合計金額を明記したもの（医療費控除をする方）
- 障害者手帳、障害者控除対象者認定書（障害者控除をする方）
- 申告する方の印鑑及び通帳等
- 確定申告のお知らせはがき

②自営業や農業などの事業所得のある方（①以外の必要書類）

- 収支内訳書
帳簿や領収書などを基にした、令和5年中の収入金額（売上金額や工事代金等）と、その収入を得るために要した経費について整理したもの

※農業・自営業・不動産貸付業を行なっている全ての方は、『記帳と帳簿等の保存』が必要になりました。町民税務課窓口にて、各事業における「収支内訳書作成の手引き」を用意していますので、ぜひご利用ください。

集落別申告相談の日程

日にち	曜日	午前	午後
2月9日	金	赤倉3	赤倉2
2月13日	火	赤倉1	一刎・明神
2月14日	水	堺田・松根	万騎の原・笹森
2月15日	木	新田1	新田2
2月16日	金	十日町	前森1・向町5
2月19日	月	向町1・向町2	向町3・向町4
2月20日	火	立小路	下小路
2月21日	水	前森2・前森3	萱場
2月22日	木	向町6	向町7・向町8
2月26日	月	豊田	沢原
2月27日	火	本城2	本城1
2月28日	水	東法田	
2月29日	木	満沢1	満沢2
3月1日	金	下白川	野頭
3月4日	月	黒沢	
3月5日	火	若宮	
3月6日	水	月楯1	月楯2
3月7日	木	法田中	法田下
3月8日	金	白川端	瀬見1・瀬見2
3月11日	月	大堀	
3月12日	火	鵜杉	
3月13日	水	清水町	志茂
3月14日	木	上鵜杉	横川

新庄税務署で確定申告を行なう方へ

令和5年分の確定申告は、2月16日より申告相談をお受けします。また、会場の混雑緩和のため、入場には「入場整理券」が必要です。整理券は会場での当日配付と、LINEによる事前発行があります。また、スマートフォンとマイナンバーカードによる自宅からのスマホ申告をお勧めしています。

- 場所 新庄税務署
（〒996-0001 新庄市五日町字宮内241）
- 期間 令和6年2月16日（金）～3月15日（金）
《土、日、祝日を除く》
- 時間 午前9時～午後4時
- 問い合わせ 新庄税務署 個人課税部門
☎22-5113



第78回国民スポーツ大会冬季大会アルペン競技 山形県予選

開催日：令和6年1月21日（日） 場所：大蔵村肘折 湯の台スキー場

少年男子 ▶22名

1位	阿部 和人
2位	峯岸 陽
3位	斉藤 東真
4位	佐藤 裕人
5位	大内 慶介
6位	小貫 徠夢

成年男子A ▶13名

1位	三上 大我
2位	高田隼之介
3位	高木 柊吾

成年男子B ▶8名

1位	佐藤 慎太郎
2位	結城 智裕
3位	小田 良祐

成年男子C ▶13名

1位	伊勢 隼人
2位	清水 一宏
3位	叶 靖長

日大山形高
山形中央高
山形工業高
日大山形高
山形中央高
九里学園高

置環
星槎大学
明治大学

置環
最上町教育委員会
神町自衛隊

最上町スキークラブ
猿倉スキークラブ
神町自衛隊

少年女子 ▶14名

1位	山下りこぼ
2位	遠藤 なな
3位	阿部 栞
4位	吉田 梓乃

成年女子A ▶7名

1位	小関 杏実
2位	宮澤 莉央
3位	中澤 笑里

成年女子B ▶4名

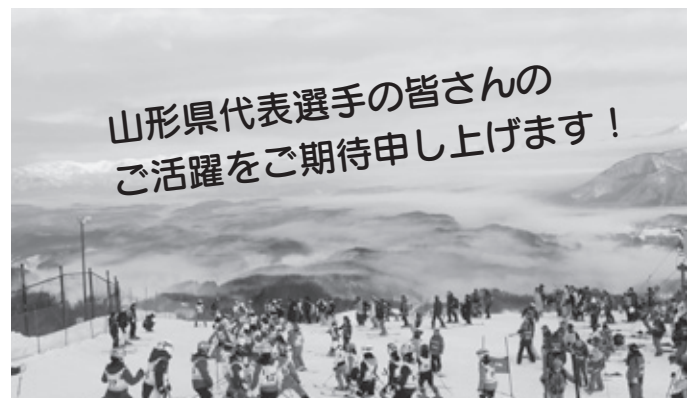
1位	鈴木 咲
2位	赤松かおり

日大山形高
九里学園高
九里学園高
日大山形高

青森大学
青山学院大学
北海道教育大学

長井スキークラブ
Lesson one スキークラブ

※1) ▶はカテゴリーに対するエントリー者数
※2) 山形県予選を通過した選手のみ記載



最上町の人口 戸籍の窓口

全人口	7,607人	(うち、外国人112人)
男	3,747人	(うち、外国人28人)
女	3,860人	(うち、外国人84人)

世帯総数 2,778世帯

生れた人	2人
亡くなった人	14人
転入	13人 (うち、外国人4人)
転出	14人 (うち、外国人0人)
前月比	13人減

いつでも、どこでも、
誰でも学べる放送大学

放送大学では2024年度
4月入学生を募集しています。
BS放送やインターネットを通
して学ぶことのできる大学で
心理学、福祉、経済、歴史、
文学、情報、自然科学等、幅
広い分野が1科目から学習で
き、学士（教養）の学位を取
得することもできます。また、
学士（看護学）や公認心理
士等の学位・資格を取得する
ことも可能です。

▼**研修期間**
◇第1回募集
令和6年2月29日（木）まで
◇第2回募集
令和6年3月12日（火）まで

▼**資料**
ご希望の方には無料で郵送

○お問い合わせ先
放送大学山形学習センター
☎023164618836

▼**見学科 無料**

東北芸術工科大学卒業
修了研究・製作展

▼**開催期間**
令和6年2月7日（水）から
令和6年2月12日（月）
時間 10時から17時まで
（水木金は20時まで）

▼**会場**
東北芸術工科大学キャンパ
ス（山形県山形市上桜田31
415）

○お問い合わせ先
東北芸術工科大学
☎023162712000

合唱団キャッスルサイド
定期演奏会

▼**開催期間**
令和6年3月10日（日）
開場13時30分 開演14時

▼**会場**
新庄市民文化会館

▼**入場料 無料**

○お問い合わせ先
ナポリ亭 担当 小川
☎023312213383

国家公務員採用試験の
お知らせ

人事院では、国家公務員採用
総合職試験（院卒者試験・大卒
程度試験）及び一般職試験（大
卒程度試験）を実施します。

▼**総合職試験**
インターネット申込受付期間
2月5日（月）～2月26日（月）
（受信有効）
一次試験 3月17日（日）

▼**一般職試験**
インターネット申込受付期間
2月22日（木）～3月25日（月）
（受信有効）
一次試験 6月2日（日）

webからの申込
お問い合わせは
コチラ
コチラを読み取る

○お問い合わせ先
人事院東北事務局 試験係
☎022122112022

国スポの応援でスキー場ご来場の際はシャトルバスをご利用ください

令和6年2月22日から2月24日にかけて、第78回国民スポーツ大会冬季大会アルペン競技が開催されます。大会期間中は、一般車両でのご来場をご遠慮いただくこととしております。ご観戦や応援を希望される場合は、指定の場所からシャトルバスをご利用ください。大会運営に、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

無料シャトルバスのご案内 応援者等の一般の方や大会関係者を対象に、無料シャトルバスを運行いたします。

●ジャイアントスラローム競技会場

最上町役場 ⇄ 赤倉温泉スキー場

日付	乗降所	運行スケジュール
2月22日(木) ～ 2月24日(土)	往路	最上町役場 発時間 7:45 8:45 9:45 10:45 12:45 13:45 14:45 15:45
		最上駅 ↓ 7:48 8:48 9:48 10:48 12:48 13:48 14:48 15:48
		赤倉温泉駅 ↓ 7:56 8:56 9:56 10:56 12:56 13:56 14:56 15:56
		ふれあいの里駐車場 ↓ 8:01 9:01 10:01 11:01 13:01 14:01 15:01 16:01
		赤倉温泉スキー場管理センター前 着時間 8:06 9:06 10:06 11:06 13:06 14:06 15:06 16:06
	復路	赤倉温泉スキー場管理センター前 発時間 8:15 9:15 10:15 11:15 13:15 14:15 15:15 16:15
		ふれあいの里駐車場 ↓ 8:20 9:20 10:20 11:20 13:20 14:20 15:20 16:20
		赤倉温泉駅 ↓ 8:25 9:25 10:25 11:25 13:25 14:25 15:25 16:25
		最上駅 ↓ 8:33 9:33 10:33 11:33 13:33 14:33 15:33 16:33
		最上町役場 着時間 8:36 9:36 10:36 11:36 13:36 14:36 15:36 16:36

ふれあいの里駐車場 ⇄ 赤倉温泉スキー場 ～駐車場間往復バス～

日付	乗降所	運行スケジュール
2月22日(木) ～ 2月24日(土)	往路	ふれあいの里駐車場 発時間 5:50
		第4駐車場 ↓ 5:55
		第3駐車場 着時間 6:00
	復路	第3駐車場 発時間 5:50
		第4駐車場 ↓ 5:55
		ふれあいの里駐車場 着時間 6:00

※天候や道路状況等により、運行に遅れが出る場合があります。



第78回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会

やまがた雪未来 国スポ

—瞬の風になり 叶えよ君の夢—

開催日 ↓

2024年2月22日(木)～2月24日(土)
最上町赤倉温泉スキー場 ジャイアントスラローム競技



最上町でアルペンスキー競技がまもなく開催されます！
町民の皆様の暖かいご声援、よろしくお願いいたします！

応援をチカラに



選手たちの声



そして、私自身は最上町のお世話になった方々へ恩返しができるように頑張りたいと思います。皆様、是非スキー場に足を運んで、地元選手を応援してください。

私は、幼少期の頃から赤倉温泉スキー場で練習してきました。この慣れ親しんだコースでの国民スポーツ大会は、入賞のチャンスだと思っています。最上町の選手が活躍することにより、同スキー場の活性化に繋がり、スキーをする子供たちが増えてくれることを願っています。



成年男子B

最上町役場 教育委員会
結城 智裕 さん(向町)



今大会でも高校時代にお世話になったり、応援してくださったりした方々への感謝と恩返しという気持ちを持ちながら、スタートバーを切り、地元貢献したいと思っています。

今大会に出場することができ非常に光栄です。私自身、平成16年に開催された「山形もがみ国体」にも出場し、これが2回目の地元で開催される国体への出場になります。前回大会は高校一年生の時で、町民の皆様からの大声援が力となり、入賞を果たすことが出来ました。



成年女子B

Lesson one スキークラブ
赤松かおり さん(向町出身)